

「コンピューティング・アルゴリズム環境の科学・技術史と哲学」

科学基礎論学会大会サテライト（ハイブリッド）ワークショップ

ハイブリッド形式 要事前登録（6月13日まで） どなたでも参加無料

講演言語英語；質疑は日本語も可

科学基礎論学会・日本科学史学会・国際科学史技術史・科学基礎論連合 HaPoC 共同主催ワークショップ
「我々の生活と社会のコンピューティング・アルゴリズム環境を考える」との連携・共同企画イベントです

2024年6月14日(金), 15:40 - 19:30 (JST)

早稲田大学戸山キャンパス 36号館6階682教室

Scientific Organizers 岡田光弘・大塚淳
企画協力

科学基礎論学会、日本科学史学会、国際科学史技術史・科学基礎論連合 科学史技術史部門・科学基礎論部門 The Inter-Division Commission for History and Philosophy of Computing



Henri Stephanou

特別講演：ステファヌ, アンリ (パリ第一大学科学技術史科学技術哲学研究所)

国際科学史技術史・科学基礎論連合 HaPoC からのゲスト

Henri Stephanou (Université Paris-1 Panthéon-Sorbonne, IHPST) [HaPoC]

「16日講演 “Automation v Augmentation: the two forms of technology at work” の背景」
& 「HaPoC 活動紹介」

What is automation? Organized work processes and computer procedures & Presentation of HAPOC

日本科学史学会からの登壇者・講演題目

1. 前山和喜（総合研究大学院大学）「日本における2種の計算実践と社会の変容」
2. 鈴木真奈（無所属）「日本におけるパーソナルコンピュータ産業の黎明期の歴史的研究：日本電気を事例として」
3. 河西棟馬（東京工業大学）「工学的統一科学の構想 — 工学帝国主義としてのサイバネティクス」

科学基礎論学会からの登壇者・講演題目

1. 鈴木貴之（東京大学）「人工知能の哲学をアップデートする」
2. 中尾悠里（富士通株式会社／東京大学）「人との相互作用に基づく倫理的なAIの確立に向けて」
3. 竹下昌志（北海道大学）「種差別と自然言語処理研究」



6月14日 WS プログラム・アブストラクト集
https://abelard.flet.keio.ac.jp/satellite-workshop_202406



6月14日 WS 事前登録 URL (締め切り13日)
<https://forms.gle/7dGb2nkJyndX1P436>



6月16日科学基礎論学会大会内 WS (対面のみ)
https://abelard.flet.keio.ac.jp/HaPoc-workshop_202406
(6月9日が大会登録締切；科学基礎論学会 WEBPAGE 参照)

ディスカッションコーディネータ: 岡田光弘, アソシエイトコーディネータ: 小関健太郎, 安東里沙子 (慶應義塾大学)

Organizing Group: 早稲田大学哲学コース伊藤遼 (Chair) 及び慶應義塾大学哲学専攻本会議準備班

問い合わせ先: logic@abelard.flet.keio.ac.jp